

プレスリリース

富家病院、入院患者様向けに Apple Watch の見守りシステムを導入

■背景および目的

富家病院（理事長：富家 隆樹）では、最先端のデジタル技術を活用し、患者様へのより安全かつ効率的なケアを提供するために、Apple Watch を用いた見守りシステムの構築に取り組んでいます。このシステムは、患者様に Apple Watch を装着していただき、各種ヘルスケアデータを適宜モニタリングするものです。



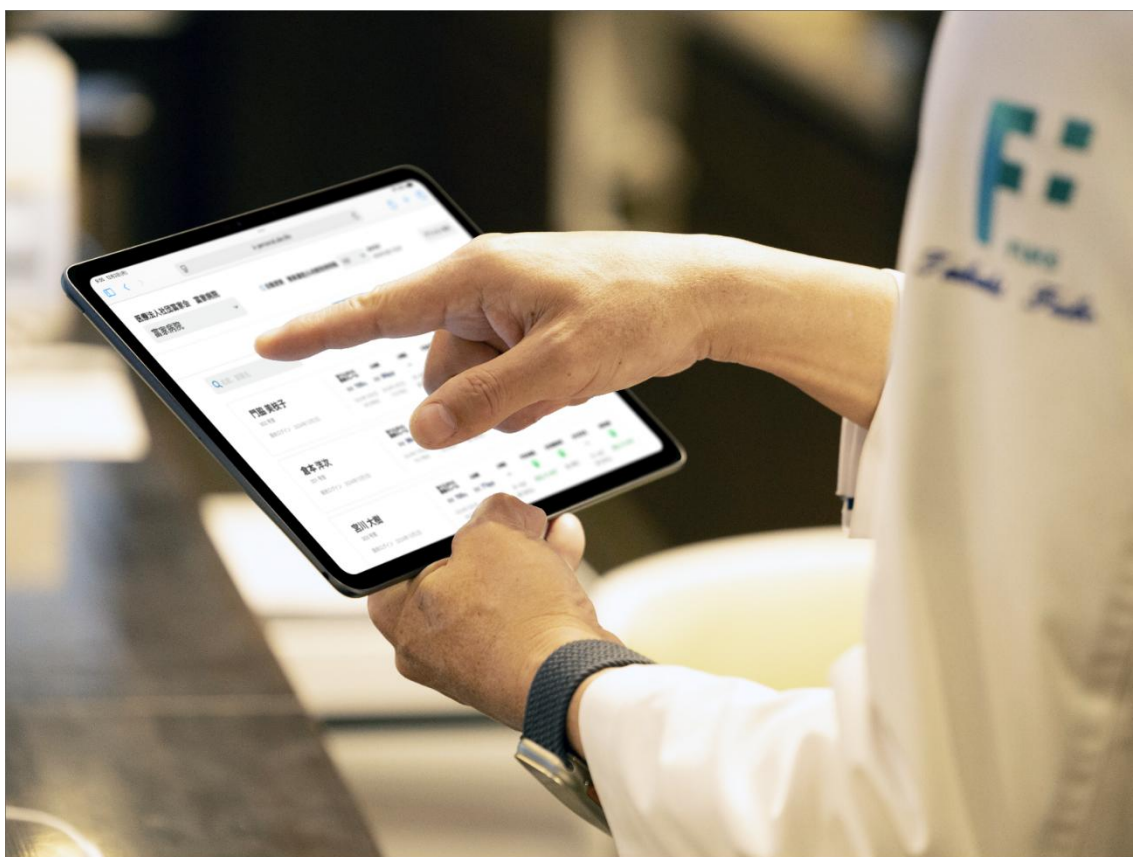
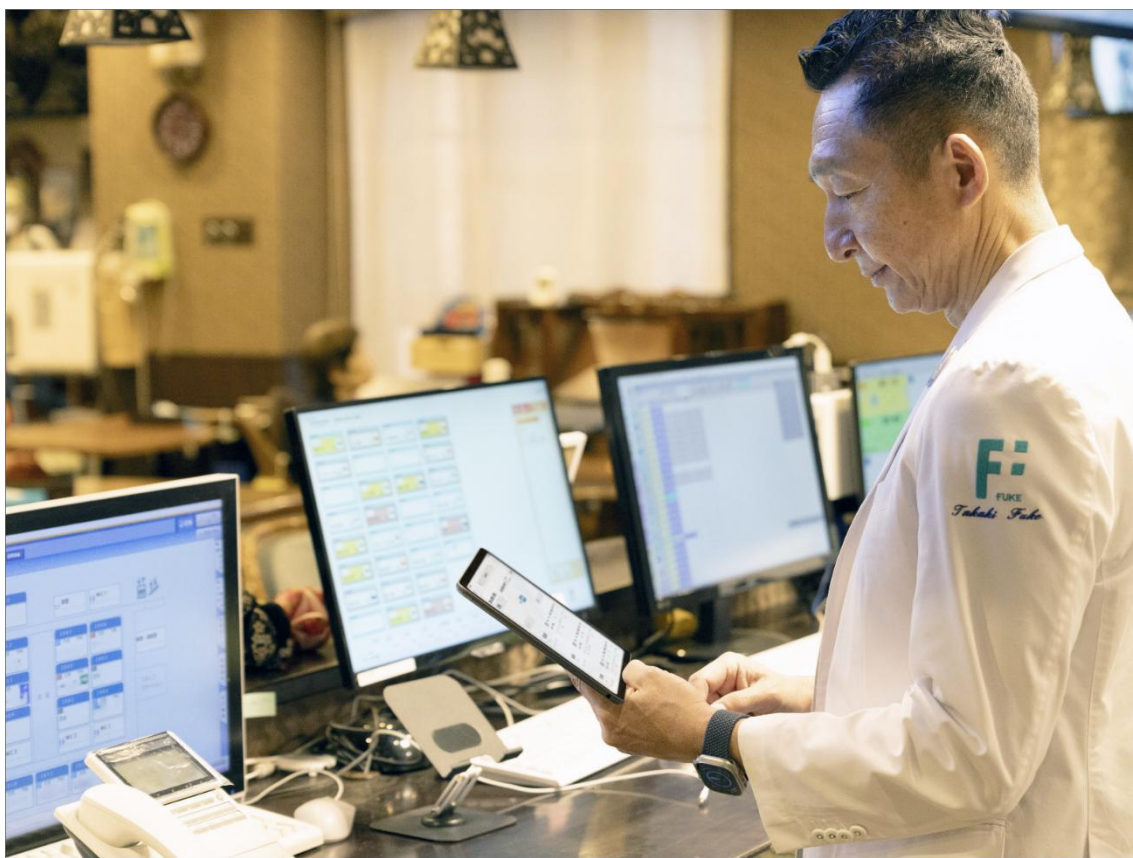
■概要

2024年7月、地域包括ケア病棟において20台のApple Watchを導入しました。最新のApple Watchは、血中酸素ウェルネス、心拍数、心電図、手首皮膚温、睡眠時間、転倒リスクの検出が可能であり、複数のデバイスを一台のiPadやMacで一括管理するアツラエ社の「Personal Aile」が構築されています。異常値が検出されるとアラートが上がる仕組みのため、すべての患者の状態を個別にチェックしなくても、迅速に対応が可能です。

■期待される効果

- 感染症の早期発見
- 隠れ転倒転落の感知
- せん妄の予兆感知
- 発作性心房細動

さらに、Apple Watch は 2024 年 5 月に心房細動履歴プログラム*としてソフトウェア医療機器プログラムの承認を取得しており、本機能を利用することで、不顕性の心房細動やホルター型心電図では見つけにくかった心房細動の発見が期待されます。これにより、脳梗塞のリスクを低減させることが期待できます。



*Apple Watch は 2024 年 11 月現在、心電図、不規則な心拍の通知、心房細動履歴、睡眠時無呼吸の通知に関して医療機器承認を受けており、その他のデータに関しては参考値として利用いたします。

■今後の展望

現在、このシステムは試験導入中ですが、グループ施設の入居者や訪問診療患者様全員に導入する計画です。富家病院は、今後も最先端の技術を取り入れ、患者様の安全と生活の質を向上させるための取り組みを続けてまいります。

以上